



## 平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 マブチモーター株式会社  
コード番号 6592 URL <http://www.mabuchi-motor.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長  
四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 大越 博雄  
(氏名) 伊豫田 忠人  
配当支払開始予定日

TEL 047-710-1127  
平成26年9月12日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	58,617	14.8	7,908	112.0	8,835	14.8	6,748	21.0
25年12月期第2四半期	51,044	21.3	3,730	31.2	7,694	69.2	5,579	86.0

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 1,917百万円 (△89.6%) 25年12月期第2四半期 18,394百万円 (255.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	192.52	192.48
25年12月期第2四半期	159.25	159.24

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年12月期第2四半期	223,689		207,708		92.8
25年12月期	227,253		208,791		91.9

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 207,654百万円 25年12月期 208,762百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	53.00	—	87.00	140.00
26年12月期	—	83.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	83.00	166.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年12月期第2四半期末配当金の内訳 特別配当 23円00銭  
25年12月期期末配当金の内訳 特別配当 37円00銭、記念配当 20円00銭  
26年12月期第2四半期末配当金の内訳 特別配当 53円00銭  
26年12月期期末配当金(予想)の内訳 特別配当 53円00銭

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,500	8.4	14,900	59.6	16,500	△1.0	12,400	17.9	353.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期2Q	37,875,881 株	25年12月期	37,875,881 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

26年12月期2Q	2,818,828 株	25年12月期	2,825,415 株
-----------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期2Q	35,053,312 株	25年12月期2Q	35,035,557 株
-----------	--------------	-----------	--------------

(注)1. 25年12月期の自己株式数には、従業員持株ESOP信託の保有する当社株式数(期末自己株式数95,200株)を含めております。

(注)2. 26年12月期2Qの自己株式数には、従業員持株ESOP信託の保有する当社株式数(期末自己株式数88,100株)を含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づいております。  
また、業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	P. 3
4. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年1月1日～平成26年6月30日)における世界経済は、緩やかな回復基調が継続しました。米国経済は堅調さを持続し、欧州経済は主要国において景気回復が継続しました。我が国経済については、消費税率引き上げ後の反動減が見られ、回復は緩やかなものに留まりました。新興国経済については、景気の弱含みが影響し小幅な成長に留まりました。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場は米国及び新興国の需要に支えられ堅調に推移しました。一方、家電機器・工具・玩具市場は、市場の在庫調整により需要に伸びがなく、精密・事務機器市場、音響・映像機器市場は、市場規模の縮小が続きました。

このような景況下、当社のモーター販売実績は、数量で前年同期比0.9%の増加、金額では前年同期比14.9%の増加となりました。また、期初における第2四半期計画に対しましては、数量で2.6%の減少、金額で5.0%の増加となりました。これらの結果、当第2四半期売上高は586億1千7百万円(前年同期比14.8%増)となり、その大半を占めるモーター売上高は585億9千4百万円(前年同期比14.9%増)となっております。

営業利益につきましては、コスト削減施策の進捗やプロダクトミックスの改善に加え、前年同期比で為替レートが円安に推移したことから、当第2四半期の営業利益は79億8百万円(前年同期比112.0%増)となりました。また、前期に計上した為替差益が当期はほぼなくなり営業外収益が減少したものの、営業利益の増加幅がこれを上回り、経常利益は88億3千5百万円(前年同期比14.8%増)となりました。税金等調整前四半期純利益は91億9百万円(前年同期比18.3%増)、四半期純利益は67億4千8百万円(前年同期比21.0%増)となりました。

次に、モーターの用途別市場動向と販売状況についてご説明いたします。

## ① 自動車電装機器市場

売上高は380億4千7百万円(前年同期比21.4%増)と大幅に増加しました。パワーウインドウ、パワーシート、パーキングブレーキ用などが好調に推移し、ミラー、ドアロック、エアコンダンパー用も、自動車生産数量の堅調な推移とシェアアップに加え、円安の影響もあり大幅な増加となりました。

## ② 家電機器・工具・玩具市場

売上高は99億円(前年同期比8.1%増)と増加しました。理美容品、工具用がともに市場在庫調整により低調に推移しましたが、円安の影響により増加となりました。

## ③ 精密・事務機器市場

売上高は67億3千8百万円(前年同期比9.3%増)と増加しました。インクジェットプリンター用のシェアアップに加え、円安の影響もあり増加しました。

## ④ 音響・映像機器市場

売上高は39億7百万円(前年同期比10.3%減)と減少しました。カーCDプレーヤー、DVDプレーヤー用が、ともに採算性重視による受注の絞り込みにより減少しました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に対して35億6千4百万円減少し、2,236億8千9百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、受取手形及び売掛金の増加7億3千1百万円、現金及び預金の減少10億1千7百万円、有価証券の減少6億9千8百万円、たな卸資産の減少6億4千3百万円、投資有価証券の減少14億9千9百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末に対して24億8千1百万円減少し159億8千万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、支払手形及び買掛金の減少2億8千4百万円、未払法人税等の減少6億9千6百万円、その他流動負債の減少13億4千3百万円などです。

純資産合計は、前連結会計年度末に対して10億8千2百万円減少し、2,077億8百万円となりました。その他有価証券評価差額金で4億9千6百万円の評価差額が減少し、為替換算調整勘定で43億3千4百万円の換算差益が減少しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

先進国においては、米国経済は堅調さを継続し、欧州経済は緩やかな回復が持続するものと見込まれます。我が国経済は、消費税率引き上げ後の反動減から回復し堅調に推移することが見込まれます。新興国経済は、伸長率が鈍化し低成長が継続するものと予想されます。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場の好調が、家電機器・工具・玩具市場、精密・事務機器市場の低成長と、音響・映像機器市場の減少を補い、さらに円安の影響もあることから、通期の売上高は期初予想(平成26年2月14日公表)を4.0%上回る1,175億円(前年同期比8.4%増)と予想しております。

また、利益面につきましては、当第2四半期連結会計期間までの実績を考慮して見直し、営業利益149億円（前年同期比59.6%増）、経常利益165億円（前年同期比1.0%減）、当期純利益124億円（前年同期比17.9%増）と予想しております。

なお、当第2四半期累計会計期間の実績為替レートは1米ドル102.47円、当下半期業績見直しにおける前提為替レートは、1米ドル98円としております（期初予想は1米ドル95円的前提）。

また、連結業績予想の期初予想からの上方修正に伴い、配当予想を1株当たり年間26円（第2四半期末13円、期末13円）増額し、第2四半期末配当金を1株当たり83円（普通配当30円、特別配当53円）、期末配当金（予想）を1株当たり83円（普通配当30円、特別配当53円）、合計年間配当金を1株当たり166円（普通配当60円、特別配当106円）と予想しております。

（注）上記の業績予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいております。業績は、今後の様々な要因により見直しと異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下のとおりであります。

- ・円並びにアジア通貨の為替相場の変動
- ・当社の事業領域を取り巻く経済環境・需要動向等の変化
- ・新技術・新製品等の急速な技術革新
- ・銅・鋼材・レアアース等の相場の変動

ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

### 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

### （会計方針の変更）

第1四半期連結会計期間より、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成25年12月25日）を早期適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	101,053	100,035
受取手形及び売掛金	19,453	20,185
有価証券	12,113	11,415
商品及び製品	16,819	16,206
仕掛品	1,262	1,277
原材料及び貯蔵品	6,071	6,026
繰延税金資産	685	872
その他	3,461	3,414
貸倒引当金	△58	△63
流動資産合計	160,862	159,370
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	43,831	42,960
減価償却累計額	△24,988	△25,044
建物及び構築物 (純額)	18,842	17,915
機械装置及び運搬具	32,982	32,905
減価償却累計額	△18,020	△18,357
機械装置及び運搬具 (純額)	14,962	14,548
工具、器具及び備品	12,823	12,871
減価償却累計額	△9,807	△9,913
工具、器具及び備品 (純額)	3,015	2,958
土地	6,029	6,027
建設仮勘定	2,163	3,165
有形固定資産合計	45,014	44,615
無形固定資産		
投資その他の資産	794	765
投資有価証券	19,176	17,676
長期貸付金	20	10
繰延税金資産	325	324
その他	1,092	959
貸倒引当金	△33	△33
投資その他の資産合計	20,582	18,938
固定資産合計	66,390	64,318
資産合計	227,253	223,689

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,637	5,352
短期借入金	113	113
未払法人税等	2,241	1,544
賞与引当金	220	217
役員賞与引当金	74	32
繰延税金負債	49	43
その他	6,719	5,375
流動負債合計	15,055	12,680
固定負債		
長期借入金	397	340
退職給付引当金	484	454
資産除去債務	22	22
繰延税金負債	2,193	2,188
その他	308	293
固定負債合計	3,406	3,300
負債合計	18,461	15,980
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,704	20,704
資本剰余金	20,419	20,419
利益剰余金	180,490	184,180
自己株式	△20,084	△20,051
株主資本合計	201,529	205,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,162	1,666
為替換算調整勘定	5,069	734
その他の包括利益累計額合計	7,232	2,401
新株予約権	29	54
純資産合計	208,791	207,708
負債純資産合計	227,253	223,689

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	51,044	58,617
売上原価	39,054	41,825
売上総利益	11,989	16,791
販売費及び一般管理費	8,259	8,883
営業利益	3,730	7,908
営業外収益		
受取利息	244	203
受取配当金	65	82
為替差益	3,154	72
スクラップ材料売却収入	523	589
その他	149	111
営業外収益合計	4,137	1,059
営業外費用		
株式関係費	25	22
控除対象外消費税等	72	43
その他	75	65
営業外費用合計	173	131
経常利益	7,694	8,835
特別利益		
固定資産処分益	5	6
投資有価証券売却益	13	276
特別利益合計	19	282
特別損失		
固定資産処分損	16	8
特別損失合計	16	8
税金等調整前四半期純利益	7,697	9,109
法人税等	2,118	2,360
少数株主損益調整前四半期純利益	5,579	6,748
四半期純利益	5,579	6,748



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,579	6,748
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,550	△496
為替換算調整勘定	11,264	△4,334
その他の包括利益合計	12,815	△4,831
四半期包括利益	18,394	1,917
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,394	1,917
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,697	9,109
減価償却費	2,184	2,447
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4	△34
受取利息及び受取配当金	△310	△285
為替差損益 (△は益)	△1,234	273
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△13	△276
有形固定資産処分損益 (△は益)	10	2
構造改革引当金の増減額 (△は減少)	△181	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,140	△1,510
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,868	△480
仕入債務の増減額 (△は減少)	△621	△781
その他	△890	280
小計	6,363	8,744
利息及び配当金の受取額	323	280
利息の支払額	△0	△0
役員退職慰労金の支払額	△935	—
法人税等の支払額	△1,994	△3,152
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,757</b>	<b>5,872</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,526	△6,937
定期預金の払戻による収入	3,642	6,316
有価証券の取得による支出	△2,500	△4,497
有価証券の売却による収入	5,380	5,100
固定資産の取得による支出	△2,283	△3,455
固定資産の売却による収入	8	26
投資有価証券の取得による支出	△999	△624
投資有価証券の売却による収入	3,020	1,385
その他	△100	△34
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,641</b>	<b>△2,718</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△56
長期借入れによる収入	567	—
配当金の支払額	△1,753	△3,057
自己株式の取得による支出	△571	△3
自己株式の売却による収入	573	36
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,183</b>	<b>△3,081</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,933	△2,004
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>11,148</b>	<b>△1,932</b>
現金及び現金同等物の期首残高	79,904	102,462
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>91,052</b>	<b>100,529</b>

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,721	30,933	5,758	9,629	51,044	—	51,044
セグメント間の内部 売上高又は振替高	32,688	32,412	—	—	65,100	△65,100	—
計	37,409	63,346	5,758	9,629	116,145	△65,100	51,044
セグメント利益	120	3,348	234	279	3,982	△252	3,730

(注) 1. 当第2四半期連結累計期間におけるセグメント利益の調整額△252百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,771	34,949	6,122	11,773	58,617	—	58,617
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39,292	36,659	—	—	75,952	△75,952	—
計	45,064	71,609	6,122	11,773	134,569	△75,952	58,617
セグメント利益	2,460	5,350	126	267	8,205	△297	7,908

(注) 1. 当第2四半期連結累計期間におけるセグメント利益の調整額△297百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。